

# 第18回きもの文化塾のご案内

好評の「きもの文化塾」、今回は、ノンフィクション作家の菊池昌治氏をお招きして、「絹糸、その陰翳の美」というテーマで開講いたします。お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

日本きもの学会 会長 高橋裕子  
きもの文化塾 担当理事 富山弘基

## 記

- 日時 10月31日(水) 午後2時~3時30分  
会場 京都産業会館7階第3研修室(京都市下京区四条通室町東入)  
市営地下鉄烏丸線「四条駅」阪急京都線「烏丸駅」下車26番出口直結徒歩2分  
講師 菊池昌治氏(ノンフィクション作家)  
講義テーマ 「絹糸、その陰翳の美」  
講義概略 蚕がその生命を吐いてつくった繭から紡いだ絹糸が宿す陰翳が織物の美を生み出す。川島織物の綴織の取材を糸口に、糸への漢字の持つぬくもりに触れ、紅絹(もみ)からの連想から花街(祇園)の情調と女性、そしてそこで生まれた食べもの「錦木(にしきぎ)」を考える。  
また、紅(べに)から上村松園の一文があぶり出す京女(九条武子・モルガンお雪)のたたずまいを思う。  
祇園に耽溺した谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」をひもとき、鱧をこよなく愛した谷崎と嫌悪感しか抱かなかった夏目漱石を対比し、もう一人の文豪・森鷗外が好んだ饅頭の茶漬から北大路魯山人が“京の茶漬の王”とした鮎(ごり)茶漬に触れ、季節柄の松茸に言及する。
- 参加費 学会員 500円 ・ 一般 1,000円  
参加方法 別紙に必要事項を記入の上、10月26日(金)迄にFAXにてお申込み下さい。  
定員 30名(応募多数の場合は、抽選の上、FAXにて結果をご連絡いたします)

## 菊池昌治先生紹介

1947年山形県生まれ。立命館大学文学部日本文学科卒業。

- 著書 「京都染織模様」「京都ひと模様」(京都新聞社)・「写真で見る京都今昔」「京都味の風土記」(新潮社)・「染織の黒衣たち」(法政大学出版)・「京都の食景」(淡交社)・「京都の魔界をゆく」「七宝の魅力」(小学館)・「現代に息づく京の伝統野菜」(誠文堂新光社)・「京洛往還記」「京都転転」(学藝書林)・「京都文学巡礼」(三一書房)
- 共著 「万葉散策」(新潮社)
- 写真個展 「含羞の肖像」
- その他一般雑誌・専門雑誌・朝日新聞に連載

---

「きもの文化塾」に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。  
日本きもの学会事務局 ☎075-211-1346 担当：嶋田

---

# 日本きもの学会

## 第 18 回きもの文化塾参加申込書

F A X : 0 7 5 - 2 1 1 - 0 1 2 5

締切日 10月26日

きもの文化塾（講師：菊池昌治先生）に  
参加いたします。

お名前		種別	会員 ・ 非会員
お連れの方のお名前		種別	会員 ・ 非会員
		種別	会員 ・ 非会員
TEL			
FAX			
メールアドレス	@		

返信の都合上、必ずFAX番号をご記入下さい。

今回の講義について、先生に質問したい事があれば、お書き下さい（先生に連絡の上、講義中に回答いただく予定です）。	
---	--

日本きもの学会 事務局宛